平成11年度環境ホルモン汚染実態調査結果

【水 質 環 境 科】

社会的に大きな関心を呼んでいる環境ホルモンについて、県では平成10年度に国が実施した一斉調査の地点を除いた、県内の河川、湖沼を対象に環境中（水質、底質）における環境ホルモンの汚染状況について調査を実施した。このうち当科では有機リン・窒素化合物系８農薬による水質の汚染状況について３地点で、年２回調査を行った。

調査結果は、８農薬ともすべての検体で定量限界未満であった。

採水地点（採水日） ＼ 農薬名	ケルセン	エンドスルファン	アトラジン	アラクロール	シマジン	カルバリル	マラチオン	トリフルラリン
用途	殺ダニ剤	殺虫剤	除草剤	除草剤	除草剤	殺虫剤	殺虫剤	除草剤
加勢蛇川上伊勢								
（平成11年８月31日）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
（平成11年11月25日）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
旧加茂川旭橋								
（平成11年８月31日）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
（平成11年11月25日）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
中海馞津地先								
（平成11年８月31日）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
（平成11年11月29日）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
定量限界（μg／l）	0.04	0.01	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05